

平成 30 年度使用 小学校「特別の教科 道徳」の教科書について
採択結果及び調査研究・審議の概要

福岡市教育委員会

1 採択結果

発行者名	書 名	使用学年
株式会社 学研教育みらい	みんなのどうとく 1 年 みんなのどうとく 2 年 みんなのどうとく 3 年 みんなの道徳 4 年 みんなの道徳 5 年 みんなの道徳 6 年	1 ～ 6 年

2 採択までの調査研究・審議の概要

福岡市調査研究委員会（以下「調査研究委員会」）において調査研究を行い、報告書を教育委員会に答申した。教育委員会では、答申及び学校長・市民の意見を踏まえて審議し、文部科学大臣の検定を経た教科書から、福岡市の子ども達に最もふさわしいものを選定し採択した。

(1) 調査研究委員会における調査研究の概要

①委員について

学識経験者 5 名， P T A 役員 6 名， 校長会会長 4 名， 主任指導主事等 4 名，
教育委員会部長級職員 1 名 計 20 名で構成

②開催状況 【公開で実施】

	開 催 日	内 容
第 1 回	平成 29 年 6 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究委員の委嘱 ・ 調査研究の諮問 ・ 教科用図書採択方針及び調査研究の進め方について説明， 質疑
第 2 回	平成 29 年 7 月 12 日（午前）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎資料の説明 ・ 基礎資料をもとに調査及び審議
第 3 回	平成 29 年 7 月 12 日（午後）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎資料をもとに調査及び審議
第 4 回	平成 29 年 7 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議のまとめ ・ 調査報告の答申

※基礎資料は、指導主事 1 名 校長 1 名 教員 4 名で構成する調査会において作成。

(2) 教育委員会会議における審議の概要

①審議状況 【公開で実施】

開 催 日	内 容
平成 29 年 7 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究委員会の報告書， 学校・市民意見等の説明 ・ 審議の進め方の確認， 質疑
平成 29 年 8 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究委員会の報告書等を踏まえ審議
平成 29 年 8 月 9 日 ※臨時会	（道徳科について集中審議） <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究委員会の報告書等を踏まえ審議
平成 29 年 8 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議のまとめ ・ 投票により道徳科の教科書を選定， 採択

※教科書見本本の展示会は次のとおり開催。学校・市民の意見はすべて教育委員会会議に提出。

- ・ 学校展示会（学校対象の展示会）：平成 29 年 5 月 29 日～6 月 9 日 市内 7 会場
- ・ 法定展示会（一般対象の展示会）：平成 29 年 6 月 16 日～7 月 5 日 市内 5 会場

3 採択理由

- 株式会社学研教育みらいの教科書については、福岡市教育委員会が策定した「平成 30 年度使用教科用図書採択方針」にある「各教科共通の観点」及び「道徳科の観点」の内容において、満足できるものとなっている。具体的には、次に示すとおりである。

<各教科共通の観点について>

- ・ 道徳の内容と他教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。特に巻末にその関連が記載されており、指導に生かせる内容になっている。
- ・ 教科書の冒頭において、話し合うことの意義が丁寧に説明され、自分の考えを書いたり、発表したりする方法などが示されている。
- ・ 小集団での話し合いができるよう教材が工夫されており、話し合い活動を通して互いの個性や価値観の違いに気付かせ、互いの多様性を尊重できるよう配慮されている。
- ・ 福岡らしい国際教育を推進する上で、異文化理解とともに、思いやりや親切が学べる内容になっている。
- ・ 学習が深まるように挿絵・写真・図など有効に配置されているとともに、印刷が鮮明で文字の色合いや大きさが児童にとって見やすくなっている。

<道徳科の観点について>

- ・ 福岡スタンダード「あいさつ・掃除、自学、立志」やいじめ問題への対応は、道徳の内容項目と関連し、発達段階を踏まえ適切に位置付けられている。
- ・ 教材の最後にある「考えよう」「やってみよう」等では、登場人物の行為や心情について追求し、学んだ道徳的価値をもとに、自分の生活をふり返り、これからできることややりたいことを考えることができるようになっている。
- ・ 児童にとって、教材の葛藤場面がわかりやすく示されており、児童が自分の考えに気付く議論していく中で、自分の考えをより明確にできるようになっている。また、話し合う際に何について考えるのか手掛かりが書いてあり、議論させやすい内容になっている。
- ・ 各学年、スポーツ等で活躍している人物を取り上げた教材が取り上げられている。児童がよく知っている人物であり、あこがれや自分もやってみたいという意欲につながる内容になっている。

以上のことから、株式会社学研教育みらいの教科書を採択したものである。